

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会福祉援助技術現場実習指導 I (Teach to Social Work Practice I)		
ナンバリングコード	E20935	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	3	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	選択: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E049352	クラス名	-
担当教員名	橋本 拓		
履修上の注意、履修条件	「社会福祉援助技術演習 I」、「社会福祉援助技術現場実習指導 I」、「社会福祉援助技術現場実習 I」の3科目を必ず同時に履修することが条件となります。 やむを得ない場合を除いて、欠席、遅刻は認められません。 講義に対して積極的な態度で臨むことを求めます。		
教科書	監修: 日本福祉大学社会福祉実習教育センター 「ソーシャルワークを学ぶ人のための相談援助実習」中央法規出版 2015年3月		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	相談援助の基盤と専門職, 相談援助の理論と方法, 高齢者福祉論, 障害者福祉論, 児童福祉論, 公的扶助論, 社会福祉援助技術現場実習, 社会福祉援助技術演習 I・II		

○基本情報			
授業の目的	社会福祉を学ぶうえで「社会福祉援助技術現場実習」は重要な位置づけにあります。つまり、「社会福祉学を総体として学ぶため」「すぐれた実践力を身につけた社会福祉専門職員養成のため」に欠かすことのできない科目ということになります。また、皆さんが現場実習での体験を内省し、将来の方向性ないしは自分の適性を見極める重要な場面にもなります。		
授業の概要	この演習を通して、現場実習の目的を明確化し、実習施設の選定と学習という実習前の作業と、実習後行う報告書の作成とその評価にかかわる作業を行います。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「実験実習形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」	
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	活動に積極的に参加することができる。		10点	10点
【知識・理解】	社会福祉援助技術現場実習の意義について理解している。相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解している。		15点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応することができる。実習での学びについて、まとめ報告することができる。		10点	20点
【思考・判断・創造】	具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。		15点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
講義終了後のレポート及び実習計画書、実習報告書をもとに総合的に判断します。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 実習報告会、講義・グループ活動への参加をもとに総合的に判断します。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。	

○その他	
必要に応じて、個別指導及び集団指導を行います。また、実習期間中には巡回指導を行います。	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	社会福祉援助技術現場実習指導 I (Teach to Social Work P)	授業コード	E049352
<b>学修内容</b>				
<b>1. オリエンテーション</b> 社会福祉援助技術現場実習指導の内容及び、社会福祉援助技術実習との関連について実習計画書を作成する意義と目的について理解する				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
<b>2. 実際に実習を行う実習分野(利用者理解含む。)と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解</b> 希望する実習分野の基礎的知識を理解する。				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
<b>3. 実習先で関わる他の職種の専門性や業務に関する基本的な理解</b> 希望する実習分野・実習先で関わる専門職の専門性やその業務の内容について理解する				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
<b>4. 実習先で必要とされるソーシャルワークの価値規範と倫理・知識及び技術に関する理解</b> 希望する実習先で用いられるソーシャルワークの知識・技術・態度について理解する				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
<b>5. 多様な施設や事業所における現場体験学習や見学実習①</b> 実際に施設権や現場体験を通じて、施設についてや様々な職種の実際について理解する ※実施状況によって講義時間以外での実施の可能性もあり				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
<b>6. 多様な施設や事業所における現場体験学習や見学実習②</b> 実際に施設権や現場体験を通じて、施設についてや様々な職種の実際について理解する ※実施状況によって講義時間以外での実施の可能性もあり				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
<b>7. 多様な施設や事業所における現場体験学習や見学実習③</b> 実際に施設権や現場体験を通じて、施設についてや様々な職種の実際について理解する ※実施状況によって講義時間以外での実施の可能性もあり				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
<b>8. 多様な施設や事業所における現場体験学習や見学実習④</b> 実際に施設権や現場体験を通じて、施設についてや様々な職種の実際について理解する ※実施状況によって講義時間以外での実施の可能性もあり				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	社会福祉援助技術現場実習指導 I (Teach to Social Work P)	授業コード	E049352
<b>学修内容</b>				
<b>9. 実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務等の理解</b> 実習現場において求められる個人情報保護や守秘義務等について理解をする				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
<b>10. 実習記録への記録内容及び記録方法に関する理解</b> 実習記録の内容及びその方法について実際の日誌を用いながら、理解をする				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
<b>11. 実習計画の作成①</b> 実習計画書の意義を理解した上で、実習計画書の作成(実習動機・目標)				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
<b>12. 実習計画の作成②</b> 実習計画書の作成(具体的達成課題)				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	事例の中で社会福祉士に求められる倫理を倫理綱領を基にレポートにまとめる。			約2時間
<b>13. 実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成①</b> 作成をした実習計画書について、実習指導者を交え、その内容について検討を行う。 ※実施状況によって講義時間以外での実施の可能性もあり				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
<b>14. 実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成②</b> 作成をした実習計画書について、実習指導者を交え、その内容について検討を行う。 ※実施状況によって講義時間以外での実施の可能性もあり				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
<b>15. 実習事前指導・まとめ</b> これまでの講義内容について振り返るとともに、実習開始に向けた最終確認を行う				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
<b>16.</b>				
予習				
復習				